



キャリアセンターにおける 就職活動支援プログラムについて

就職活動を行うにあたっては、早めにしっかりと準備をすることが何より大切であることはいうまでもありません。しかしほとんどの学生にとって、就職活動は人生で初めて経験をするものですから何から手を付けてよいのかわからないのが、現状ではないでしょうか。以下は一般的な就職活動の流れです。

エントリーシート
履歴書提出会社説明会
セミナーに参加筆記試験
適正試験集団面接
グループディスカッション

個人面接

内定(内々定)

就職活動で避けて通ることのできないこれらの選考をクリアし、晴れて内定を獲得していただくために、キャリアセンターでは年間を通して就職活動を支援する様々なプログラムを行っております。2015年度は、以下のラインナップで実施いたしました。

就職
ガイ
ダンス

6月 「就職活動の流れ」
7月 「自己分析」
10月 「業界・企業研究」
11月 「内定者からのメッセージ」
1月 「本番直前、これからすべきこと」

講座・
セミナー

6月・10月 Web試験対策模擬テスト(解説付き)
7月 JICAボランティアセミナー
8月・2月 エアライン講座
10月～12月 就職筆記試験対策講座(全6回)
12月 航空、旅行、ホテル業界OB・OGとの交流会
1月 履歴書・エントリーシート対策講座(基礎編)
面接試験対策講座、グループディスカッション対策講座
2月 履歴書・エントリーシート対策講座(応用編)
就活写真撮影会、就活メイク講座



大部分の講座については、後援会からの予算援助を得て開催しているプログラムで、多くの学生が無料で受講しました。また就活写真撮影会でも、写真代金の1部を補助いただき、安価で高品質な履歴書用写真を提供することができました。

就職活動にはとにかくお金がかかるといわれています。日経就職ナビによりますと、就職活動費用は平均13万円～14万円、地方へのUターンや首都圏での活動となると、50万円を超える場合もあるとのデータがあります。学生たちが存分に力を発揮して悔いのない就職活動を行うためにも、後援会からの支援は必要不可欠であると考えます。

今後とも、学生の就職活動に対してよろしくご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

(キャリアセンター 就職支援課長 給田 佳名子)

学内での企業等説明会

2/10-3/10
Wed. Thu.

キャリアセンター主催で本学1号館において2月10日を皮切りに企業理解説明会が開催されました。

製造業からサービス業まで幅広い民間企業と、警察など110社8団体の企業・団体に参加いただき、スクール形式で行われました。会場内は担当者の説明に熱心に耳を傾ける学生や、積極的に質問をする学生で熱気に溢れていました。

また3月8日・9日には企業説明会を開催し、20企業1団体の参加がありました。更に3月10日は午前中にLO活(厚生労働省の委託による地方人材還流促進事業)による就活セミナー及び京都新卒応援ハローワークの利用についての説明会が行われました。また午後には9つの地域から就職支援担当者が来てUターン・Iターンを希望する学生を対象に就職相談会が開催されました。

学内で行われる企業説明会は、企業側の採用意欲も高いことから、例年多くの採用に結びついていきます。名前の知れた大企業ではなくとも、キャリアセンターが厳選した優良企業に多数参加いただいておりますので、学生にはこの機会を大いに利用され、いいご縁につながることを切に希望いたします。

2015年度に変更されたばかりの就職活動時期が、2016年度には再度変更されることになっています。毎年のように変わる就職活動事情ですが、学生にはあいまいな噂や流言に翻弄されることなく、自分自身で常にアンテナを張り巡らし、しっかりと情報をキャッチして就職活動に臨んでいただきたいと思います。

(キャリアセンター 就職支援課長 給田 佳名子)



世界に飛び出せ！ 京都外大生の留学体験

多くの京外大生が世界に飛び出し、
留学からさまざまな体験を深めています。
今回は、2014年9月から2016年2月までに留学した体験を、
帰国後のアンケートから書き起こしてレポートします。

台湾 国立台湾大学留学

中国語学科2年次生 西田 優衣さん
認定留学 (2015年2月～2016年2月)

<保証人から>

住まいのこと、大学でのこと、金銭管理の手段、諸手続き、言葉などが心配でした。毎日のLINEでのやりとりで、日本とは異なったことを生活から経験し成長しているのがわかりました。

<留学生本人から>

通学はバス、電車、公共の自転車を利用しました。私の通う語学センターは原則中国語以外禁止。授業は1日3時間で、ひと月単位で朝、昼、夕方の時間帯を選択できます。1クラス5、6人で、クラスメートは年齢・国籍も様々。プライベートでクラスメートと話すときは英語でした。

台湾料理は油っこいのが多いのですが、半年くらいで慣れて食べられるようになりました。物価は安く、マンゴーなど美味しいフルーツが安いです。気候は、湿度が高めで日差しが強く、スコールがよく降ります。台湾へ行くときは、日焼け止めや化粧品・シャンプーなどを持って行くことをおすすめします。

親日家が多く、気候だけでなく人もあたたかく接してくれ、食べ物も美味しいので、留学にはとてもいい国だと思います。



オーストラリア クイーンズランド大学留学

中国語学科2年次生 宇草 香津季さん
海外セミナー (2015年8月～2015年9月)

<保証人から>

出発当日からさすがに心配になった。子どもから連絡があったのは、出発当日、帰国の際の関空からの電話と、オーストラリアからの1通のメールのみ。しかし、連絡がないということは何も問題がないことだと思った。1カ月ではあるが、息子に貴重な体験をさせることができた満足している。

<留学生本人から>

留学先はアジアの人がたくさんいて、僕は中国語学科なのでとても興味を持ちました。明るく積極的な授業で楽しく学ぶことができ、比較的早く終わるので自由時間も多くて、生活には短期間で慣れました。

現地の人とは会話をしたり、プレゼンテーションの準備やクッキングをしたりして交流を深めました。食事の塩分の違いやお菓子の甘さなどには文化の違いを感じました。

大学のあるブリスベン、暖かく雨が少ないので過ごしやすい町です。市内は綺麗ですが、物価は比較的高く生活するには厳しい面も。僕が専攻する中国語も役に立ち、英語と中国語さえ話せたら、世界のどこでも行けるのではないかと思います。しかし、もう少し英語を勉強しておくべきでした。会話において、英語が一番必要なものだと改めて感じました。最後に、ブリスベンには日本のものはたくさんあるので必要ないです。



カナダ ブリティッシュコロンビア大学留学

英米語学科3年次生 中田 真奈美さん
認定留学 (2015年2月～2015年12月)

<保証人から>

人間関係をうまくやっていけるのだろうか、体調面はどうだろうかと不安がありましたが、まめに連絡はくれていました。キャッシュパスポートを紛失したり、ホストファミリーを3度もチェンジするなどのトラブルを乗り越えて、よいホストマザーに恵まれ落ち着いたようです。現地でのトラブルは自分で解決するしか方法がありません。様々な経験を通して、視野を広げるよい機会になったと思います。

<留学生本人から>

ファーストフードみたいなものばかりではないかと食事のことが気かりでしたが、ホストファミリーがフィリピン出身で日本への理解もあり、よかったです。授業は100分が1日3コマあり、少人数制。通常授業のほか、文法や語彙、会話などの授業の選択もできました。留学生はブラジル、サウジアラビア、韓国、カザフスタンなど様々な国から来ているので、よい異文化体験にもなりました。

ダウンタウンでは、壁や床に人物や風景が描かれていて面白かった

です。トイレのドアが床から30センチも上についていて、日本にはないドア下の大きな隙間が気になりました。レストランのパスタは一皿2000円もして痛手。Google Mapはとても役立ちました。



アメリカ カリフォルニア大学サンディエゴ校留学 ドイツ ゲーテマンハイム校留学

ドイツ語学科2年次生 浅野 卓徳さん
休学留学 (2014年9月～2015年7月)

<保証人から>

初めての海外で心配しました。連絡はLINEでした。1カ月を過ぎた頃、クレジットカードを落としたと連絡がありました。異国の地で文化や習慣を知り、他国の人とお友達になれたことはよかったです。

<留学生本人から>

私はアメリカに留学の後、継続してドイツに3カ月留学しましたが、留学を経験してとてもよかったと思います。

カリフォルニア大学での授業は、ほとんどが大教室。先生がその日のトピックスを決めて、生徒が意見を交わし合いました。休みの日はステイ先のプールで遊んだりホームパーティーをしたりで、友達もたくさんできました。ステイ先では、時には学校での悩みを聞いてもらったりと、本当に親身に接して頂きました。

サンディエゴの気候はおだやかですが、雨が降るのは年3～5回です。ホストファミリーから、時には水不足が発生してシャワーの時間が5分以内になると教わりました。

ホームステイ先ではなにかお手伝いをしようと心がけていたので、ゴミ出しや掃除など率先してやり本当に喜ばれました。私もとても嬉しかったです。帰るときに、「いつでも帰っておいで。ここはあなたの居場所なんだから」と言われました。よい体験ができたと思います。





学内見学の様子

後援会研修旅行

京 KYOTO 都

11/28
Sat.



学生によるガイドで南禅寺を見学



友禅染体験



(後援会 田村 裕子)

今年は日帰り研修旅行として、世界中から大勢の観光客が訪れる京都市内を選びました。関西圏にお住まいの保証人ですら、意外に京都市内を観光していないという事実。

まずは、その世界的観光都市京都の真ん中に位置する本学を見学しました。京外大だけに、国際会議室に似せた同時通訳演習室、マルチメディアセンター内のスタジオ等見事な施設ばかりでした。授業以外にも熱心な学生たちで賑わっているNINJA(外国語自律学習支援室)の施設等実際に見学することで様子がわかりました。

本学見学のあとはバスで南禅寺へ。通訳サークルに所属している京外大生の(特別に日本語での)案内で、真偽のほどはともかく石川五右衛門の絶景かな、で有名な南禅寺の三門やあまりにもお馴染みの琵琶湖疎水が天空の水路を流れる境内を巡りました。温暖化で紅葉は例年より「もひとつ」だったそうですが、方丈園の水面に映る紅葉や歴史的建造物はやはり見応えがありました。

次に昼食場所の木屋町先斗町の「幾松」へ。ご主人から、桂小五郎ら幕末の志士が会談をしていた部屋、落とし天井、幾松さんが小五郎を匿ったという長持等の説明を聞いた後に、これまた驚きの超絶品、ミニ懐石料理のお食事を堪能しました。

その後は、京都ならではの、友禅染の体験をしたり、京漬け物の試食三昧に時を忘れ、帰路につきました。京外大生は世界都市京都で学生生活を送ることができて本当に幸せだと感じた1日でした。

後援会費用途報告



ウェイトトレーニングのマシンやダンベルも購入!

ウェイトトレーニングをするボディビル部の2人。左から、スペイン語学科1年次生 宮崎友宏さんと住原晃一さん

後援会では、いろいろな支援や助成を行っています。予算のほとんどは語学検定費や奨学金支援といった恒常的な支出に使われています。そのような中で今年は学校からの要望で新たにグラウンドマスターの買換えを予算化し購入しました。グラウンドマスターとは野球場や運動場を整備するための機械です。野球場でよくトラクターのような乗り物がグラウンドをグルグル回って整地している機械がそうです。京都外大の西山グラウンドで今まで使っていた機材が老朽化し使いづらくなったため利用者がグラウンドを整備するのに必要と考え後援会で購入しました。金額は約300万円と高額でしたが、これで少しでも学生達がクラブ活動等を行うのに役に立ってもらえればと思っております。これからも後援会では限られた予算の中でも特に必要なものがあれば、予算化していきたいと考えております。

(後援会会長 箕内 正典)

会計部会の活動報告



会計部会では、保証人の皆様からお預かりしている大切な後援会費に関する会議を年間2～3回行っております。

会計と聞くと難しいイメージを持たれますが、実際には後援会費を自分たちの息子や娘たちによりよい形でサポートし、学生生活に役立てるかを協議し、また、大学側とも予算を通して話し合いすることは、大変有意義な活動です。

今後も会計部会の活動を充実させ、子どもたちのサポートをしてまいります。是非、お気軽にご参加ご協力ください。お待ちしております。

(後援会 安達 章)



年2回、語学検定試験受験料を全額助成します!!

お子様の留学・就職等のキャリアアップに、ぜひご利用ください。

助成を受けるには、所定の手続きが必要となりますので、**申請方法、申請期間、支給方法**については、**掲示板または教務部分室窓口にて確認**してください。

※英米語学科1・2年次生については、学科が行うTOEIC IPテストに助成1回分を充当します。

語学検定試験
助成の対象となる

- 英語 (TOEIC、TOEFL iBT、実用英語技能検定、国際連合公用語英語検定試験、IELTS)
- スペイン語 (スペイン語技能検定、DELE)
- フランス語 (実用フランス語技能検定試験、TCF、TEF、DELF/DALF)
- ドイツ語 (ドイツ語技能検定試験、ゲーテ・インスティトゥートのドイツ語検定試験)

- ブラジル・ポルトガル語 (外国語としてのポルトガル語検定試験、ブラジル教育省外国人のためのポルトガル語検定試験)
- 中国語 (HSK、実用中国語技能検定試験)
- 日本語 (日本語教育能力検定試験、日本漢字能力検定)
- イタリア語 (実用イタリア語検定)

大学3年次生・短大1年次生を対象に就職試験を想定し、自己PR・コミュニケーションの強化をめざす「履歴書、エントリーシート、面接総合対策講座の支援」も行っています。

【問い合わせ先】
教務部分室 TEL.(075)322-6764 場所/8号館1階



目標高く 活動しています！

京都外大には53団体のクラブがあり、サークル等を含めるとその数は70団体を超えています。今回はその中から、バレーボール部とスペイン語研究会を紹介します。

【バレーボール部】

男子主将
フランス語学科 3年次生
小林 拓也

女子主将
英米語学科 2年次生
黒田 由佳



後援会では、
部活動を奨励金でサポート！

平素は私ども京都外国語大学バレーボール部の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。現在は水曜日と木曜日18時から21時まで、土曜日12時から15時、15時から18時までの週3回練習に励んでいます。現在部員は男子12人、女子7人で活動を行っています。人数は多くありませんがチームワークを最大限に生かしリーグ昇格を果たせるように頑張りますのでご声援よろしくお願いします。

【スペイン語研究会】

会長
スペイン語学科 1年次生
坂本 千佳

こんにちは。スペイン語研究会です！私たちスペイン語研究会の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。私たちは研究会という暗いイメージを吹っ飛ばすくらい、明るく楽しくをモットーのもと、3回生が抜けてしまった中、1、2回生合わせて15人で活動しています。主に、スペイン語を使って部員たちが楽しいゲームを考えたり、ネイティブの先生を招いて会話を楽しんだりしています。また、暗唱大会、弁論大会の運営にも取り組んでおり春、夏には合宿を行っております。秋には、6つの研究会さんとE.S.S.さん、そして留学生会さんで外大祭の時に語劇を披露し競いあっています。第57回語劇祭ではスペイン語研究会が栄えあるゴールデンスター賞という素晴らしい賞を受賞しました。やる時はとことん真面目にやり抜き、遊ぶときは遊ぶというメリハリのある行動ができる部員たちです。

また、今年も明るく楽しく語劇活動もしていきたいと思っていますので今後もご声援、よろしくお願いします。



UNION主催 クリスマスパーティー

★ Christmas Party! ★

12/23
Wed.

12月23日、UNION主催による、京外大留学生と交流のクリスマスパーティーが留学生レジデンスにて開催されました。各国の留学生が自分達の国の料理やワインを持ち込んで、大変にぎやかに盛り上がっていました。外大ならではの、日本語が聞けないくらいの素敵なパーティーでした。レジデンスの管理人の福田さんは明るくとても協力的で、慕われていました。

(後援会 田口 陽子)



編集後記

今年度最後の後援会会報をお届けします。会報COMMITの記事についてはできるだけ本学関係者のみなさんが関心のあることやぜひお伝えしたいことなどを中心に掲載していますが「このようなことが知りたい」「このようなことを載せてほしい」などがございましたら、遠慮なくお知らせください。

海外学習で真っ先に思いつくのは海外留学です。しかしそれ以外にインターンシップなどいろいろな方法がありますがご存知ですか？私自身後援会活動に参加するまでは、

留学以外の海外学習の方法は知りませんでした。しかし昨年4月わが娘が入学し後援会の活動に参加し多くの方と知り合い、お話を聞くうちにインターンシップなどの情報も得ることができました。

ぜひ多くの方が後援会に関心を持っていただき、お手伝いいただければ、後援会活動もより有意義になると思っています。

最後になりますが1年間後援会活動にご協力いただきありがとうございました。また来年度もよろしくお願いいたします。



(広報部会 吉川 和信)

投稿はこちらまで

kyotogaidai-commit
@hotmail.co.jp

スペースの都合上、掲載できない場合もございます。あしからずご了承ください。

『お子さんの留学(インターンシップ等)』に関する体験談をお聞かせいただきたく、ご協力をお願い致します。